

残暑疲れにやさしい



★当日最大60センチ、2.5キロのクロムツ(ムツ)が60メートルダ子の浅場で登場



★夜釣りとはいえ集魚灯をつけるため船上は意外と明るい



◀底から10メートル上までタナを探る
▼食い気のある群れに当たるとダブル、トリプルも

東伊豆網代港出船 東伊豆の秋の名物 浅場で快釣!! 夜クロムツ

撮影◎椎名義徳

▼夕景を眺めながら17時ごろ出船



▲小学3年生の男の子も本命ゲット



◀スマヤキ(クロシビカマス)とクロムツのダブル
▼オモリ120号、ハリ数は3本までのルール



▲後半に追い上げました
▶アタリがきたタナを集中して狙おう



(詳細は54ページ参照)

まだまだ残暑厳しい9月、夏ハテを引きつついる方にピッタリの釣り物が東伊豆の秋の名物・夜クロムツ(ムツ)。秋を感じる夜風が心地よく、クロムツ狙いとしては軽めのオモリ120号、胴つき3本バリという道具立てで楽しめる疲れた体にやさしい釣りだ。

日中は水深200メートル以上の深場にいるクロムツが、日が暮れると浅場へと上がってきて夜間は水深60〜90メートル付近がポイントになる。目下の釣況は25〜35センチ級がトップ10尾前後とまずまずで、例年9〜10月の最盛期は30尾超えの好日も珍しくない。食味も抜群のクロムツを手軽な道具で狙える秋の夜釣りをぜひ一度体験していただきたい。

